

遺伝性腫瘍に対するゲノム医療の実際 ～リンチ症候群を中心に～

ゲノム医療対応型がん看護専門看護師リカレントコースインテンシブセミナー第二回として、がん診療における genetics & genomics の視点から遺伝性腫瘍に焦点化する予定です。

がん医療において、ゲノム情報を用いた個別化医療が進む中、遺伝性が考えられるがんの対策として、リスク・アセスメントの方法についてリンチ症候群を中心に解説します。セミナーの後半ではリスク・アセスメントに関わる演習を設定していますので、がん看護に携わられている皆様のご参加をお待ちしております。

日時:2018 年 **11月25日(日)** 13:00～16:00

場所:新大阪ブリックビル(3F AB 会議室)

*JR「新大阪」駅3階コンコースから北口を出て北へ。歩行者デッキを通り、大阪回生病院手前で右手階段を下りてすぐ。

対象:専門看護師、修了生、CNS コース
大学院生、教員(先着 80 名)

講師:田村 和朗先生(近畿大学理工学部生命科学科教授)



*事前申し込みとなります。

以下へアクセスの上、必要事項(氏名、ご所属、連絡先、領域等)を、2018 年 **11月14日(水)**までにご登録下さい。

<http://apnhyogo.net/seminar/>

—主催—

兵庫県立大学大学院看護学研究科

多様な新ニーズに対応する

「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン

(責任者: 内布 敦子)

■講師紹介

田村 和朗(たむら かずお)先生

兵庫医科大学先端医学研究所(家族性腫瘍部門)を経て、2007年より近畿大学 理工学部生命科学科教授として分子生物学をご担当、同大学大学院 総合理工学研究科理学専攻教授として遺伝医学研究室および遺伝カウンセラー養成課程を担当され、2015年4月より責任者として活躍されています。

日本家族性腫瘍学会(副理事長、評議員、家族性腫瘍カウンセラー、家族性腫瘍専門医・指導医)、日本人類遺伝学会(評議員、臨床遺伝専門医制度委員会委員、認定遺伝カウンセラー制度委員会委員)、日本遺伝カウンセリング学会(評議員、日本人類遺伝学会と同名の委員会委員)、臨床遺伝専門医・指導医(日本人類遺伝学会と日本遺伝カウンセリング学会の合同認定)、がん治療認定医(日本がん治療認定機構)

■講演内容

がん診療で接することの多い大腸がんに焦点をあて、遺伝性腫瘍や新しい治療薬も含め、「がんゲノム医療」を考える機会にしたいと思います。

- | | |
|---------------|--------------------|
| ① がんゲノム医療 | ② 散発性(一般)腫瘍と遺伝性腫瘍 |
| ③ リンチ症候群とは | ④ ゲノム医療で求められる知識・能力 |
| ⑤ 家系図作成(演習) | ⑥ リスク・アセスメント(演習) |
| ⑦ ショート ロールプレイ | ⑧ みんなで考えるがんゲノム医療 |

がん看護専門看護師の皆様が「がんゲノム医療」の理解を深め、当事者の方々に還元していただけることに少しでも貢献できれば幸いです。

連絡先:兵庫県立大学看護学部内 がんプロ事務局

兵庫県明石市北王子町 13 番 71 号

TEL : 078-925-0860 FAX : 078-925-0858

E-mail : gan-support@cnas.u-hyogo.ac.jp



兵庫県立大学 大学院 看護学研究科

College of Nursing Art and Science, University of Hyogo